

令和元年7月19日

ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス)について

岐阜県病害虫防除所

ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス)は、ウメ、スモモ、モモ、アンズ、ユスラウメなどに感染する植物ウイルスです。

このウイルスに感染すると、葉に退緑斑点や輪紋(図1、2、3)が生じ、モモやスモモでは、果実の表面に斑紋が現れ、商品価値が失われたり、成熟前の落果により減収するとの報告もあります。

本病は平成21年に東京都青梅市のウメで国内初の感染が確認され、県内では平成27年度に観賞用ウメで感染が初確認されました。また、平成28年度の調査において、各務原市で新たな発生が確認され、市内の一部地域が植物防疫法に基づく緊急防除区域に指定されました。

これまでの取組により、ウメについては、感染による果実の品質及び収量の低下は確認されず、ウメ生産園地において一般的な防除暦によりアブラムシ防除が行われていれば、感染樹の伐採を行わなくても、生産園地に本ウイルスが侵入・まん延する可能性は低いと考えられることから、今年度は、アンズ、スモモ及びセイヨウスモモへの感染の有無を調査します。

なお、このウイルスは人や動物に感染することは無く、果実を食べても健康に影響はありません。

連絡先

岐阜県病害虫防除所

岐阜県岐阜市又丸729-1 農業技術センター内

電話 058-239-3161 ファックス 058-234-0767

岐阜県病害虫防除所飛騨支所

岐阜県高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内

電話 0577-33-1111 (代表) ファックス 0577-34-2706

ウメ輪紋ウイルスについて詳しくは「農林水産省HPウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス)の防除について」を参照願います。(外部リンク)

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/ppv/ppv.html



図1、2 感染したウメの葉の症状（葉にドーナツ状の輪ができる）



図3 感染したモモの葉の症状（葉脈に沿って緑色の薄い部分ができる）
画像は農林水産省植物防疫所より